

# 文化芸術交流事業に必要な経費

## 造形美術事業費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業 (アセアン)

### 2. 催し等事業費

- (1) 国際展 (国際展参加)
- (2) 海外展 (企画展)
- (3) 海外展 (巡回展)
- (4) 海外展 (助成)
- (5) 造形美術情報交流 (催し)
- (6) 市民青少年美術交流助成

## 造形美術事業費

## 1. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (アセアン)

国際交流基金の業務趣旨に合致する造形美術分野の事業を外部から受託し実施する。

合計額 25,284,992 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	東アジアクリエイター招へい (第3期)	WARDHANI, Farah	インドネシア・ビジュアル・アート・アーカイブ エグゼクティブ・ディレクター	インドネシア	2010.07.05 ~ 2010.08.16	東アジア首脳会議(EAS)参加国のうち13カ国から、アート、映画、演劇等創造的な活動に従事する若手のクリエイター21名を日本に招へいし、制作者や関係者とのネットワーク形成の機会を提供し、新たな芸術交流の創造と国際相互理解の深化を図った
		WIJASMARA, Firman	モキシール インドネシア代表	インドネシア	2010.05.31 ~ 2010.08.11	
		KHVAY, Samnang	現代美術家	カンボジア	2010.06.01 ~ 2010.08.29	
		HO, Michelle	シンガポール美術館 アシスタント・キュレーター	シンガポール	2010.07.05 ~ 2010.08.01	
		ONG, Zhen Min	ナショナル・アート・ギャラリー アシスタント・キュレーター	シンガポール	2010.07.12 ~ 2010.09.30	
		NITPOLPRASERT, Chattiya	パープル・ヘイズ キュレーター	タイ	2010.07.01 ~ 2010.07.31	
		KLOMSAKUL, Passapak	スーパーノーマル・スタジオ ディレクター	タイ	2010.07.05 ~ 2010.08.22	
		VIRANUVAT, Patavee	映画監督	タイ	2010.04.26 ~ 2010.07.08	
		PACENA II, Jaime	アジア・パシフィック大学 講師	フィリピン	2010.06.29 ~ 2010.09.18	
		LANIOG, Ma. Elena	フィリピン大学ダンスカンパニー 振付家	フィリピン	2010.07.15 ~ 2010.09.05	
		ROSALIE ZERRUDO, Maria	エニグマタ クリエイティブ・ディレクター/アーティスト	フィリピン	2010.08.17 ~ 2010.10.18	
		HAJI OTHMAN, Hernie	ブルネイ首相府情報局 カメラマン	ブルネイ	2010.07.05 ~ 2010.08.11	
		NGUYEN, Anh Tuan	現代美術家	ベトナム	2010.06.01 ~ 2010.08.18	
FADZIL, Fahmi	ファイブ・アーツ・センター メンバー	マレーシア	2010.06.21 ~ 2010.08.01			
SOON, Simon	『アルテリ』編集者	マレーシア	2010.07.01 ~ 2010.08.16			

## 造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
		LATT, Win Ei Ei	現代美術家	ミャンマー	2010.06.01 ~ 2010.08.29	
		PHOUMIVONG, Souliya	ラオス国立美術学校 講師	ラオス	2010.03.23 ~ 2010.05.31	
		MANEKSHAW, Jehan	シアター・プロフェッショナルズ ディレクター	インド	2010.06.07 ~ 2010.07.25	
		MAGAR, Nivedita	キュレーター	インド	2010.07.16 ~ 2010.09.18	
		ROBB, Leigh	パース現代美術館 キュレーター	オーストラリア	2010.07.01 ~ 2010.08.01	
		CARR, Steve	ホワイトクリフ美術大学 講師	ニュージーランド	2010.04.26 ~ 2010.07.08	
2	東アジアクリエイター招へい（第4期）				2010.08.01 ~ 2011.07.31	第4期（2011～12年）の東アジアクリエイター招へいのための準備業務を実施

## 造形美術事業費

## 2. 催し等事業費 / (1) 国際展 (国際展参加)

今日の日本の美術状況と優れた現代作家を紹介することを目的に、作品の出品や作家の派遣により国際美術展に参加する。

合計額 64,323,975 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	第14回バングラデシュ・ビエンナーレ	バングラデシュ	ダッカ	オスマニ記念ホール	2010.10.08 ~ 2010.11.07	バングラデシュ・シルパカラアカデミーが主催する現代美術の国際展。日本は第1回目(1981年)から参加。今回は、コミッショナーに林寿美(川村記念美術館学芸員)、出品作家として名和晃平が参加し、グランプリを受賞
2	第29回サンパウロビエンナーレ	ブラジル	サンパウロ	ビエンナーレ会場	2010.09.25 ~ 2010.12.12	サンパウロ(ブラジル)において開催される国際美術展、第29回サンパウロ・ビエンナーレに関し、長谷川祐子(東京都現代美術館チーフ・キュレーター)と日本人グループ作家、Chim↑Pomの派遣を支援
3	第12回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展	イタリア	ヴェネチア	ジャルディーニ公園内日本館	2010.08.29 ~ 2010.11.21	北山恒コミッショナーのもと、塚本由晴、西沢立衛両氏の出品を得、日本が「メタボリズム」という概念を発信してから50年を迎える2010年に、絶え間なく生成変化を遂げる「東京」の都市としての魅力を伝える展示を実施
4	第54回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展(準備)	イタリア	ローマ	ジャルディーニ公園内日本館		2011年6月4日から11月27日の間開催予定の企画展の開催準備

## 2. 催し等事業費 / (2) 海外展(企画展)

海外の美術館・博物館等との共催により、日本の美術・文化を海外諸国に紹介する。

合計額 134,377,750 円

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
1	新次元 マンガ表現の現在	全世界区分困難 韓国	水戸市 ソウル	水戸芸術館 アートソングェ・センター	2010.08.14 ~ 2010.09.26 2010.12.03 ~ 2011.02.13	2000年代の日本マンガ9作品を取り上げ、「マンガ表現の今日的可能性」というテーマで企画した展覧会。キュレーターは高橋瑞木(水戸芸術館)、空間デザイナーは豊嶋秀樹(gm projects)。第一会場の水戸芸術館現代美術センターで展示した後、「主要都市向け戦略的文化集中発信プロジェクト(日韓新時代:未来へのコラボレーション)」事業の一環として、韓国・ソウルのアートソングェ・センターにおいて実施した。日本マンガが同時代的に受容されている韓国においては、美術雑誌に特集が組まれるなど好評を博し、展覧会にあわせて実施したシンポジウムにも大勢の観客が集まった

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
2	WA—現代日本デザインと調和の精神	フランス 韓国	サン・テティエンヌ ソウル	国際デザインビエンナーレ コリア・ファウンデーション文化センター	2010. 11. 20 ～ 2010. 12. 05 2011. 02. 12 ～ 2011. 03. 19	日常生活の中から現代の日本の優れたプロダクトデザイン161点を、12のカテゴリー（食器／水まわり／家電／情報／遊具／文具／雑貨／ウェア／包みとバッグ／乗り物／家具／あかり）に分けて展示。日本のデザインに特徴的な6つのキーワード（かわいい、クラフト、きめ、手ざわり、ミニマル、心くばり）を取りあげて紹介。ソウル展は、「主要都市向け戦略的文化集中発信プロジェクト（日韓新時代：未来へのコラボレーション）」事業の一環として実施
3	上海万博記念特別巡回展	中国	上海	上海環球金融センター	2010. 09. 03 ～ 2010. 11. 07	上海国際博覧会（上海万博）の実施時期に合わせ、日中両国の交流を深めるため、「キャラクター大国、日本」及び「都市と建築：1960年代の日本都市計画から語ろう」の2つの特別記念展示を上海環球金融センターで開催
4	マンガ文化史	シンガポール	シンガポール	ジャパン・クリエイティブ・センター	2010. 10. 16 ～ 2010. 11. 12	ジャパン・クリエイティブ・センター（JCC）開設記念事業として、シンガポールでも人気の高い「日本のマンガとアニメ」の文化的背景、歴史、主要な作家等を網羅的に紹介する展覧会を実施
5	クリエイターシリーズ 伊東豊雄建築展 <i>MY COSMOS from my room to my city</i>	シンガポール	シンガポール	シンガポール国立大学講堂 ジャパン・クリエイティブ・センター	2011. 01. 07 2011. 01. 08 ～ 2011. 02. 25	シンガポールで多くのプロジェクトに携わっており、現地での知名度も高い伊東豊雄（建築家）のプロジェクトを幅広く紹介し、また同氏の講演会（01.07 シンガポール国立大学講堂）も併せて行なった。ジャパン・クリエイティブ・センター（JCC）開設記念事業として実施
6	シンガポール・ビエンナーレ記念「日本現代美術展」山口晃展 <i>Singa-Planet</i>	シンガポール	シンガポール	ジャパン・クリエイティブ・センター	2011. 03. 12 ～ 2011. 05. 06	「シンガポール・ビエンナーレ」の開催時期をとらえ、日本のアートシーンを代表する山口晃の海外初個展を、ジャパン・クリエイティブ・センター（JCC）開設記念事業として実施。多民族国家シンガポールの庶民生活から着想を得た新作ドローイング類と、2000年代の代表的な油彩、水彩画、立体を展示
7	JENESYSフォローアップ事業（準備）	インド オーストラリア	ニューデリー パース		2010. 04. 01 ～ 2011. 03. 31	平成23年度実施の企画展「山口晃展」の準備作業

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
8	桂離宮—石元泰博写真展	米国 カナダ 米国 米国 米国	ロサンゼルス バーナビー シアトル ボイシ ポートランド	カリフォルニア大学ロサンゼルス校建築学部建築学科 日系プレース (Nikkei Place) シアトル日本庭園 ボイシ州立大学 ポートランド市日本庭園パビリオン	2010.04.30 ~ 2010.05.21 2010.06.06 ~ 2010.08.04 2010.09.02 ~ 2010.11.14 2010.12.02 ~ 2011.01.09 2011.01.27 ~ 2011.02.20	日本の王朝の雅を今に伝える桂離宮を、個性的な視座で捉えた石元泰博の写真作品50点から成る展覧会を開催し、モダンな造形性で知られる石元の写真を通して、桂離宮という日本美の精緻をクローズアップした
9	写真展「出発（たびだち）—6人のアーティストによる旅」展	ポルトガル メキシコ メキシコ メキシコ	レイリア トルーカ メキシコ・シティー ベラクルス	レイリア市立ギャラリー モデロ科学産業博物館 メキシコ市立写真アーカイブ博物館 ベラクルサーナ大学付属ギャラリー	2010.05.31 ~ 2010.07.11 2010.10.01 ~ 2010.10.24 2010.12.16 ~ 2011.02.06 2011.02.16 ~ 2011.03.27	若手日本人の写真家5名及び映像作家1名による「旅」をテーマとした作品170点を紹介。キュレーションは藤村里美（東京都写真美術館）。2009年パリでの展示後、2010年はポルトガル1会場、メキシコ3会場を巡回
10	近代日本工芸1900～1930	フランス	パリ	パリ日本文化会館	2010.10.13 ~ 2010.12.23	本展覧会では、陶芸、染織、漆工を中心に、1900年から1930年の間に制作された工芸作品75点を展示。アール・ヌーヴォー、アール・デコ等の影響を経て日本人作家が生み出した独自の展開をヨーロッパに紹介
11	ジャナドリヤ祭日本館展示「武道の精神」展【準備】	サウジアラビア	リヤド	ジャナドリヤ祭日本館	2010.04.01 ~ 2011.03.31	サウジアラビアの国民的文化行事である「伝統と文化の祭典（ジャナドリヤ祭）」における「武道の精神」展の展示及び和室ステージ等の準備。当初2011年3月に開催予定のところ、同祭の開催が2011年4月13日～29日に延期されたことに伴い、本年度は、実施準備のみとなったもの

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	期間	事業内容
12	北斎展【実施準備】	ドイツ			2010.04.01～2011.03.31	平成23年度開催予定の企画展の準備作業
13	田中敦子展【実施準備】	英国 スペイン			2010.04.01～2011.03.31	平成23年度開催予定の企画展の準備作業
14	ロシアにおける日本現代美術展【実施準備】	ロシア			2010.04.01～2011.03.31	平成23年度開催予定の企画展の準備作業
15	樂展【実施準備】	米国 ロシア			2010.04.01～2011.03.31	平成23年度開催予定の企画展の準備作業

## 造形美術事業費

## 2. 催し等事業費 / (3) 海外展(巡回展)

国際交流基金が所蔵する日本の芸術・文化を紹介する展示セットを海外諸国に巡回する。

合計額 189,930,460 円

	事業名	対象国・地域	都市	会場	期間	事業内容
1	90年代の日本の絵画	ルクセンブルク	ディーキルシュ	ディーキルシュ市中・高等学校 ディーキルシュ市文化会館	2010.04.15 ~ 2010.05.16	現在高い評価を得ている会田誠、小林孝亘、奈良美智、村上隆を含む9名の作家が、1990年代に、30代の若手作家としてどのように絵画に取り組み、新しい表現を獲得しようとしていたかを紹介
		スロベニア	ツェリエ	ツェリエ現代美術館	2010.06.18 ~ 2010.08.15	
		ウクライナ	キエフ	ウクライナ国立美術館	2010.09.17 ~ 2010.10.17	
		ウクライナ	オデッサ	オデッサ西洋・東洋芸術博物館	2010.10.28 ~ 2010.11.21	
2	<i>out of ordinary / extraordinary</i>	フィリピン	マニラ	メトロポリタン美術館	2010.06.30 ~ 2010.10.16	様々な価値観や視点によって、より複雑化する現代にあって、日常や身の回りから世界に共感し、「他者」の多様な声を尊重し、寄り添って聞くような表現—日々の平凡な日常から生まれた「非凡」な日本の現代写真を紹介
3	都市と建築 Struggling Cities: from Japanese Urban projects in '60s-	中国	上海	上海環球金融センター	2010.10.14 ~ 2010.11.07	1960年代における日本人建築家による野心的な都市提案をきっかけとして、「都市」を様々な角度から考察し、新しい都市像を模索するための展覧会。第一部は、丹下健三の「東京計画1960」、菊竹清訓の「塔状都市」、磯崎新の「空中都市」を取り上げる。第二部では、第一部の「都市計画」を実際に行った海外4事例に触れ、3D立体都市模型を通じて紹介。第三部では、東京の様々な側面を、押井守監督によるアニメーション作品、スライドショー等を通して紹介
		ドイツ	ケルン	ケルン日本文化会館	2011.02.15 ~ 2011.03.18	
4	ウィンターガーデン	米国	ロサンゼルス	日米文化会館ドイザギギャラリー	2010.06.12 ~ 2010.07.18	1960年代末以降生まれの若い世代のアーティストによる現代美術作品（平面作品、映像等）から構成される展示セット。本展の企画は、松井みどり（美術評論家）が提唱する、無名、時代遅れと言われるものに新たな用途や文脈を与える「マイクロポップ」（造語）をキーワードに構成
		カナダ	トロント	トロント日本文化センター	2010.08.06 ~ 2010.11.06	
		メキシコ	メキシコ・シティ	メキシコ国立自治大学付属チョボ美術館	2010.12.08 ~ 2011.03.02	



造形美術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	期間	事業内容
5	くまもとアートポリス	チュニジア	チュニス	ベルベデーレ・アートの家	2010.04.07 ~ 2010.04.26	自治体や民間の建造物を建設するにあたり、内外から優れた建築家を起用するという熊本県の画期的なプロジェクト「くまもとアートポリス」によって生み出された建築を紹介
		イタリア	ローマ	ローマ日本文化会館	2010.05.18 ~ 2010.07.02	
		ドイツ	ハノーヴァー	ニーダーザクセン州建築家協会	2010.08.05 ~ 2010.09.09	
		ドイツ	ケルン	ケルン日本文化会館	2010.09.24 ~ 2010.11.26	
		ドイツ	マグデブルク	フォーラム・ゲシュタルトウング	2011.01.26 ~ 2011.03.04	
6	現代日本デザイン100選	マレーシア	ペナン	マレーシア科学大学芸術学部アディワルナ・ギャラリー	2010.04.19 ~ 2010.05.15	1990年代に製作された生活用品のデザイン約100点、及びその原点ともいえる戦後の1950年代に製作された作品13点を紹介
		韓国	済州	国立済州博物館	2010.06.22 ~ 2010.07.11	
		韓国	釜山	新世界センタムシテイ6階新世界ギャラリー	2010.07.20 ~ 2010.08.01	
		韓国	ソウル	在韓国大使館広報文化院	2010.08.27 ~ 2010.09.11	
		トルコ	イスタンブール	イスタンブール・デザインウィーク	2010.09.29 ~ 2010.10.03	
		トルコ	イスタンブール	イスタンブール工科大学	2010.10.12 ~ 2010.10.27	
		トルコ	アンカラ	ジェパ・ショッピングセンター	2010.11.01 ~ 2010.11.30	
		インドネシア	ジャカルタ	ナショナル・ギャラリー	2011.01.18 ~ 2011.02.06	

## 造形美術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	期間	事業内容
7	現代日本の工芸	ネパール	カトマンズ	在ネパール大使館 ホール	2010.04.16 ~ 2010.04.29	陶器、竹細工、漆、ガラス、石など幅広い素材を用いて制作された64点の工芸作品で構成。華、侘び、鋭、歪み、精緻、花鳥のテーマに分類して紹介。人間国宝の故・江里佐代子氏の作品を含む64点の構成
		ブルネイ	バンドルスリブガ ワン	ブルネイ博物館	2010.06.07 ~ 2010.06.27	
		マレーシア	コタ・キナバル	サバ・アート・ ギャラリー	2010.07.12 ~ 2010.07.30	
		韓国	済州	済州学生文化院	2010.08.24 ~ 2010.09.01	
		韓国	昌原市	城山アートホール 展示場	2010.10.01 ~ 2010.10.09	
		韓国	ソウル	在韓国大使館広報 文化院	2010.10.18 ~ 2010.10.29	
		タイ	チェンマイ	チェンマイ大学 アートセンター	2010.11.26 ~ 2010.12.15	
		タイ	バンコク	バンコク芸術文化 センター	2011.01.14 ~ 2011.02.13	
		シンガポール	シンガポール	南洋芸術学院	2011.03.14 ~ 2011.04.19	
8	現代日本の陶磁器	ギリシャ	アテネ	メリーナ文化セン ター	2010.04.12 ~ 2010.04.30	特色のある窯をもつ有田、唐津、萩、備前、京都、久谷、瀬戸、美濃、益子で、日本の窯の伝統を引き継ぎながら優れた陶芸作品を生み出している若手作家の作品71点を紹介
		ハンガリー	ケチケメート	国際陶磁器スタジ オ	2010.06.03 ~ 2010.06.26	
		ハンガリー	デブレツェン	メッジェシ美術館	2010.07.15 ~ 2010.09.12	
		英国	アピリスウィス	アピリスウィス・ アーツ・センター	2010.10.23 ~ 2011.01.05	
		イタリア	ファエンツァ	ファエンツァ国際 陶磁器美術館	2011.01.20 ~ 2011.03.20	

## 造形美術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	期間	事業内容
9	自然に潜む日本	中国	深圳	華美術館	2010.03.05 ~ 2010.03.25	矢萩喜徒郎（写真家）が「ありのままに日本の自然をみつめることで、写真を通して日本の現在の姿を立ち上げよう」と企画し、日本全国を巡り制作した写真集『Hidden Japan - 自然に潜む日本』からモノクロ写真85点を選び構成
		スリランカ	コロンボ	ナショナル・アート・ギャラリー	2010.06.02 ~ 2010.06.07	
		中国	香港	香港大学美術博物館	2010.08.10 ~ 2010.09.10	
		中国	北京	清華大学美術院	2010.09.16 ~ 2010.10.07	
		中国	合肥市	合肥・久留米友好美術館	2010.11.10 ~ 2010.11.21	
		中国	瀋陽	魯迅美術学院、瀋陽市図書館	2010.12.02 ~ 2010.12.25	
		中国	重慶	三峡博物館	2011.01.20 ~ 2011.02.20	
10	新世代アーティスト	ベトナム	ハノイ	エキシビション・ハウス「29ハン・バイ」	2010.05.15 ~ 2010.05.24	1990年代半ば以降、注目を集めている11人の日本人若手作家の現代美術展。視覚的にインパクトに富み、物づくりへの強いこだわりの感じられる作品を中心に、合計42点（絵画、彫刻、写真、ビデオなど）により構成
		ベトナム	ホーチミン	ホーチミン市労働文化会館	2010.06.12 ~ 2010.06.21	
		ベトナム	フエ	フエ市ホーチミン博物館	2010.07.17 ~ 2010.07.26	
		インドネシア	スラバヤ	エミタン・ギャラリー	2010.09.26 ~ 2010.10.10	
		インドネシア	ジャカルタ	サリハラ・ギャラリー	2010.10.27 ~ 2010.11.16	
		マレーシア	シャー・アラム	ギャラリー・シャーアラム	2010.12.08 ~ 2010.12.24	
		マレーシア	ペナン	マカリスター通り57号（ペナン州立博物館付属）	2011.01.07 ~ 2011.01.23	
		パキスタン	イスラマバード	国立美術館	2011.02.04 ~ 2011.03.31	

## 造形美術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	期間	事業内容
11	写楽再見	ボリビア チリ ペルー 米国	ラパス サンティアゴ リマ アルバニー	国立美術館 プロビデンスシア区文化院 リカルド・パルマ大学クコリ・ワシ文化センター アルバニー美術館	2010.06.02 ～ 2010.07.02 2010.08.03 ～ 2010.09.24 2010.11.08 ～ 2010.11.28 2011.02.04 ～ 2011.03.28	独特の大首絵で歌舞伎役者等を描いた江戸時代の浮世絵師、東洲斎写楽をテーマに、現代の作家たちが柔軟な着想と確かな表現で再解釈した作品を紹介。写楽の大首絵(複製)28点、グラフィックデザイナーによるポスター28点、現代美術作家による絵画・彫刻・陶芸・版画など23点により構成
12	スピリトを写す	オマーン カタール シリア	マスカット ドーハ ダマスカス	オマーン芸術協会 カタール写真協会(文化村会場) ハーン・アスアド・パンシャ	2010.10.04 ～ 2010.10.12 2010.11.29 ～ 2010.12.09 2011.01.09 ～ 2011.01.22	精神的な基盤が失われた時代に、物質的な現実には隠された、見えないものが持っているであろう価値を表現しようとする作家たちの姿を紹介
13	手仕事のかたち	ドミニカ共和国 中国	サント・ドミンゴ 北京	ベジャス・アルテス 北京日本文化センター	2010.04.15 ～ 2010.05.15 2010.12.11 ～ 2011.01.08	日々の暮らしの中で育まれてきた伝統的工芸品(陶芸、染織、金工、漆工、木工、紙など)及び各地の工房で伝統的な技術を用いて創造性豊かな作品を生み出している工芸作家の作品90点を紹介
14	キャラクター大国、ニッポン Aセット	中国 台湾 台湾 オーストラリア	上海 台北 高雄 メルボルン	上海環球金融センター 国立中正紀年堂 夢時代8階夢時代会館 王立メルボルン工科大学ギャラリー	2010.09.03 ～ 2010.10.10 2010.11.19 ～ 2010.12.05 2010.12.09 ～ 2010.12.21 2011.01.21 ～ 2011.03.19	サブカルチャーの重要なジャンルである「キャラクター」をテーマとした新しい巡回展セット。1950～60年代から現在までの日本社会を振り返りつつ、日本人なら誰でも知っているキャラクター(ウルトラマン、キティちゃん、ガンダム)などを分かりやすく解説するとともに、模型を展示。キャラクターの魅力を文化人類学的に分析するとともに、そのデザイン性も紹介
15	キャラクター大国、ニッポン Bセット	イタリア ハンガリー	ローマ ブダペスト	ローマ日本文化会館 ハンガリー貿易観光博物館	2010.09.27 ～ 2010.11.06 2011.01.14 ～ 2011.02.14	サブカルチャーの重要なジャンルである「キャラクター」をテーマとした新しい巡回展セット。1950～60年代から現在までの日本社会を振り返りつつ、日本人なら誰でも知っているキャラクター(ウルトラマン、キティちゃん、ガンダム)などを分かりやすく解説するとともに、模型を展示。キャラクターの魅力を文化人類学的に分析するとともに、そのデザイン性も紹介

## 造形美術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	期間	事業内容
16	日本人形 Eセット	オーストラリア	バーンサイド	バーンサイド市タウンホール	2010.07.08 ~ 2010.07.22	日本古来の風習に育まれた「雛人形」「五月人形」、古典芸能に題材をとった「能人形」「文楽・歌舞伎人形」等、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形など約70点を紹介
		オーストラリア	パース	カウンスル・ハウス	2010.08.11 ~ 2010.08.24	
		オーストラリア	キャンベラ	アリアンス・フランセーズ	2010.09.20 ~ 2010.10.02	
		インド	プネ	カラ・ダラン	2010.11.13 ~ 2010.11.21	
		インド	コルカタ	アバニンドラナート・ギャラリー・ラビンドラナート・ダゴールセンター	2011.01.10 ~ 2011.01.23	
		インド	チェンナイ	アンナドゥライ生誕百周年記念図書館	2011.02.08 ~ 2011.02.19	
17	日本人形 Fセット	米国	オマハ	ローリツイン・オマハ植物園	2010.04.17 ~ 2010.05.09	日本古来の風習に育まれた「雛人形」「五月人形」、古典芸能に材をとった「能人形」「文楽・歌舞伎人形」等、日本各地の人形や現代工芸作家による創作人形など約70点を紹介
18	日本の現代写真	ニュージーランド	ウェリントン	在ニュージーランド大使館広報文化センター	2010.04.21 ~ 2010.04.30	「1970年代から今日までの現代日本に暮らす人々とそれをとりまく風景」をテーマに、森山大道、東松照明、荒木経惟を含む23名の写真家による、計76点の作品を紹介
		ニュージーランド	オークランド	スノーホワイトギャラリー	2010.05.18 ~ 2010.06.17	
		コスタリカ	サンホセ	ナショナルギャラリー	2010.07.15 ~ 2010.08.12	
		コスタリカ	アラフェラ	アラフェラ市立劇場ロビー	2010.08.26 ~ 2010.09.23	
		コロンビア	ボゴタ	ビルヒリオ・バルコ図書館	2010.10.28 ~ 2010.12.05	
		ベネズエラ	カラカス	コープバンカ文化センター	2011.02.10 ~ 2011.02.27	

## 造形美術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	期間	事業内容
19	日本の子ども60年	米国	シアトル	シアトルセンター	2010.04.11 ~ 2010.04.22	写真家の目がとらえた子供達の生活ぶりをはじめ、戦後から現在にいたる日本の60年間の歩みを振り返るという趣旨で、木村伊兵衛、土門拳を含む97名の写真家により撮影された子供達の写真100点を紹介
		アルゼンチン	コルドバ	コルドバ日本人会 会館	2010.06.10 ~ 2010.06.30	
		ウルグアイ	モンテビデオ	カビルド展示場	2010.09.01 ~ 2010.09.15	
		ウルグアイ	サン・ホセ	文化スペース（サン・ホセ）	2010.09.23 ~ 2010.10.12	
		エルサルバドル	サンサルバドル	ダビッド・J・グスマン国立考古学博物館	2010.11.26 ~ 2011.01.09	
		グアテマラ	グアテマラ	国立近代美術館	2011.02.15 ~ 2011.03.20	
20	パラレル・ニッポン	ブラジル	ポルト・アレグレ	リオグランデドスル・カトリック大学建築学部	2010.04.29 ~ 2010.05.18	1996年～2006年の10年間に竣工した日本の建築から、代表的な110作品を選び、わが国の社会文化状況と対比させながら紹介
		ブラジル	クリチバ	メモリアル・クリチバ パラナホール	2010.05.28 ~ 2010.06.20	
		ブラジル	リオ・デ・ジャネイロ	国立歴史博物館	2010.07.05 ~ 2010.07.20	
		ブラジル	ジョアン・ペソア	ウジナ・カルトゥラル・エネルジザ（パライバ電力会社文化ギャラリー）	2010.08.03 ~ 2010.08.22	
		ブラジル	ブラジリア	国立博物館	2010.08.31 ~ 2010.09.19	
		ブラジル	ベレン	ベレン市立美術館	2010.09.30 ~ 2010.10.20	
		ブラジル	マナウス	西部アマゾン日伯協会	2010.10.29 ~ 2010.11.22	
		ブラジル	サンパウロ	インスティテュート・トミエ・オオタケ	2010.12.07 ~ 2011.01.30	
		米国	ヒューストン	ヒューストン建築センター	2011.03.24 ~ 2011.04.22	

## 造形美術事業費

	事業名	対象国・地域	都市	会場	期間	事業内容
21	武道の精神	トルコ	アンカラ	ジェパ・ショッピングセンター	2010.04.04 ~ 2010.04.18	日本で実際に用いられてきた武具類を、テーマ性・装飾性の高い作品を中心に展観すると共に、現代の各武道団体の活動についても紹介。日本文化を武芸・武術の観点から視覚的に紹介
		ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエボ	ボスニア・ヘルツェゴビナ美術館	2010.05.07 ~ 2010.05.15	
		クロアチア	ザグレブ	民俗歴史博物館	2010.06.12 ~ 2010.07.03	
		ロシア	モスクワ	全ロシア国立外国文献図書館	2010.07.30 ~ 2010.08.19	
		ロシア	クラスノヤルスク	クラスノヤルスク美術館センター	2010.09.04 ~ 2010.09.26	
		アイスランド	レイキャビク	北欧ハウス	2010.11.21 ~ 2010.12.12	
22	日本の自画像 1945～1964 (仮称) 展 【準備】				2010.04.01 ~ 2011.03.31	1945年から1964年までの日本の戦後社会の移り変わりを11名の写真家の作品により紹介する新規巡回展示セットの制作

## 造形美術事業費

## 2. 催し等事業費 / (4) 海外展 (助成)

国内外の美術館・博物館等が主催し、海外において企画・実施する日本美術・文化を紹介する展覧会に対し、経費の一部を助成する。

合計額 53,844,877 円

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
1	ムーブ・オン・アジア2010 ( <i>Move on Asia 2010 &amp; Media Archive Network Project</i> )	韓国	ソウル	LOOP	ALTERNATIVE SPACE LOOP	2010.04.10 ~ 2010.05.10	日本、韓国、中国、ベトナム、スリランカ、インドネシアなどアジア各国のキュレーター20名が推薦する映像作品40点を展示、あわせてシンポジウムを開催。日本人のキュレーターはNTTインターコミュニケーション・センター(ICC)の畠中実、作家は泉太郎、田中功起、小林耕平らの作品を展示
2	第8回光州ビエンナーレ 8th Gwangju Biennale, 2010	韓国	ソウル	光州ビエンナーレ会場	光州ビエンナーレ財団	2010.09.03 ~ 2010.11.07	光州ビエンナーレは、1995年から開始されたアジア初の本格的国際展。アーティスティック・ディレクターにMassimiliano Gioniを迎え、 <i>10,000 Lives</i> のタイトルのもとに約100名の作家が参加。日本からは工藤哲巳、実験工房、大竹伸朗らが参加
3	第6回ソウル国際メディアアート・ビエンナーレ ( <i>The 6th Seoul International Media Biennale</i> )	韓国	ソウル	ソウル市立美術館	ソウル国際メディアアートビエンナーレ諮問委員会	2010.09.07 ~ 2010.11.07	2000年からソウル市美術館を会場として開始されたメディアアートに特化したビエンナーレ。第6回目となる今回はアーティスティック・ディレクターにキム・ソンジョン、キュレーターの一人に日本人の住友文彦を起用。展覧会のほかにシンポジウム、ワークショップ、トーク等を実施。日本からは宮島達男、池田亮司、大巻伸嗣が出品
4	釜山ビエンナーレ2010 ( <i>Busan Biennale 2010</i> )	韓国	釜山	釜山市立美術館他	釜山ビエンナーレ組織委員会	2010.11.09 ~ 2010.11.20	2000年から開催されている釜山市主催のビエンナーレ。第5回目の今回のテーマは <i>Living in Evolution</i> 。アーティスティック・ディレクターに日本人キュレーターの東谷隆司を起用。世界各国から60~80名の作家を招へいし、展示。日本からは名和晃平、ヤノベケンジ、Chim ↑Pom、鴻池朋子等が参加
5	北野謙「our face プロジェクト」 ( <i>Our face project, Ken Kitano</i> )	中国	北京	北京三影堂影視文化伝播有限公司	北京三影堂影視文化伝播有限公司	2010.05.01 ~ 2010.07.31	三影堂は写真家・榮榮(ロンロン)と日本人写真家・映里(インリ)が2007年に設立した写真に特化した展示・収集施設。展覧会の他、講演会や映画上映など幅広い活動を実施。今回のプロジェクトは北野謙のレジデンスにより「アジアの人々」というテーマで大判の手焼き写真を制作、制作方法を伝授しつつ作品を展示



## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
6	<i>Around Sound Art Festival 2010</i>	中国	香港	Academy of Visual Arts Gallery, SINSIN atelier + annex, etc.	サウンド・ポケット (Sound pocket)	2010.08.20 ~ 2010.09.09	サウンドアートのネットワーク形成を目的に、香港芸術発展局のサポートを得て実施した展覧会。日本からはベテランの鈴木昭男と若手作家のMiki Yuiが出品。サウンドアートという新たなアプローチが新鮮な企画
7	<i>Nu-Substance Festival 2010</i>	インドネシア	バンドン	スラサール・スナリオ・アートスペース	コモンルーム・ネットワーク財団 (Common Room Networks Foundation)	2010.07.05 ~ 2010.07.25	Nu-Substance Festival 2010の一環として <i>The Loss of the Real</i> をテーマに実施するレジデンス、ワークショップ、展覧会。パフォーマンスと総合した事業。キュレーターは21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme) 平成20年度東アジアクリエイター招へいプログラムによる被招聘者Gustaff Harriman Iskandar。会場は国際交流基金主催の <i>KITA!!</i> 展でも共催実施したスラサール・スナリオ・アートスペース。国際交流基金関連事業のフォローアップ事業として位置づけられる
8	田名網敬一展 ( <i>Keiichi Tanaami Exhibition: The World of TATEBANKO with Tribute by WORK</i> )	シンガポール	シンガポール	LaSalle College of the Arts	ラ・サール芸術大学 (LaSalle College of the Arts)	2010.08.12 ~ 2010.09.11	日本のグラフィックデザイナー・イラストレーター・アニメーション作家である田名網敬一の個展。会場であるラ・サール芸術大学の学生を主な鑑賞者として、同氏の作品を通じて日本のポップカルチャーの一端を紹介
9	鳥羽美花型染展 ーハノイ建都1000年・奈良遷都1300年を祝して ( <i>Toba Mika's Special Katazome Exhibition-in commemoration of hanoi 1000th year &amp; Nara 1300th year</i> )	ベトナム	ハノイ	ベトナム国立美術博物館、文廟	鳥羽美花型染展ハノイ実行委員会	2010.12.06 ~ 2010.12.25	長年ベトナムでの創作活動・交流に関わってきた鳥羽美花の作品を、ハノイ建都1000年・奈良遷都1300年を記念する日越交流イベントとして実施。作品はベトナム各地の風景を日本独自の伝統染色技法である型染めを使い表現したものの20点を展示。会場は国立美術博物館
10	スリランカ国際仏教博物館日本展 ( <i>Exhibition of Japan in Sri Dalada International Buddhist Museum, Kandi</i> )	スリランカ	キャンディ	Sri Dalada International Buddhist Museum	大谷暢順・マヒンダ・ラージャパクシャ・ジョイント・アワード財団	2010.04.01 ~ 2011.03.31	スリランカ政府運営のスリランカ国際仏教博物館で実施。16カ国の仏教国が参加。日本展については、財団法人本願寺維持財団とスリランカ政府公認のNGOである大谷暢順・マヒンダ・ラージャパクシャ・ジョイント・アワード財団が日本国内の宗教関係機関、大学・研究機関等の協力を得て開催。「大乘の至極 日本仏教」をテーマに彫刻、絵画、書籍などを出展、併せて映像により日本の精神を紹介

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
11	儚くも永遠なる言葉たち：アジアの面影 ( <i>Ephemeral but Eternal Words : Traces of Asia</i> )	オーストラリア	キャンベラ	The School of Art Gallery, The Australian National University (ANU)	オーストラリア国立大学人文学研究所 Australian National University (ANU)	2010. 04. 02 ~ 2010. 05. 01	アジア諸国出身でオーストラリア在住のアーティスト3名と、日本からの2名(港千尋、木村翼沙)による言葉、文字、書くという行為を扱った作品を展示。国際学会“Asia: Moving Across and Between Locations”と同時開催
12	<i>Structural Integrity</i>	オーストラリア	シドニー	The Meat Market Arts Centre	Next Wave Festival Inc.	2010. 04. 19 ~ 2010. 05. 30	2010年Next Wave Festivalの一環として実施。アジア、オーストラリアのArtist Run Initiativeが構造物/パヴィリオンを制作。レジデンス、展覧会とシンポジウムからなる。日本からはArt Centre Ongoingが参加し、和田昌宏がパヴィリオンを制作
13	第17回シドニービエンナーレ ( <i>17th Biennale of Sydney : The Beauty of Distance—Song of Survival in a Precarious Age</i> )	オーストラリア	シドニー	Cocotoo Island, Museum of Contemporary Art他	Biennale of Sydney Limited	2010. 05. 12 ~ 2010. 08. 01	「距離の美」をテーマに、日本からは会田誠、山口晃、マーク・ダイサム他を招へいし、作品展示に加えて、「ペチャクチャ・ナイツ (Pechakucha nights at Super Deluxe@Artspace)」他、同ビエンナーレのパブリックイベントを実施
14	中嶋興・瀧健太郎ビデオアート展 ( <i>Japanese Video Art Exhibition featuring Artists Ko Nakajima &amp; Kentaro Taki</i> )	ニュージーランド	オークランド	ST PAUL St galleries	オークランド工科大学付属セントポール・アートギャラリー	2010. 08. 19 ~ 2010. 09. 24	中嶋興と瀧健太郎の異なる世代の作家2名によるビデオ・アート展。展覧会に加え、2日間のワークショップと講演を実施
15	「城郭と遊郭のために：江戸時代の日本の磁器」展 ( <i>For Castles and Courtesans : Japanese Porcelain of the Edo Period</i> )	カナダ	トロント	ガーディナー陶磁器美術館(Gardiner Museum of Ceramic Art)	ガーディナー陶磁器美術館(Gardiner Museum of Ceramic Art)	2010. 07. 03 ~ 2010. 09. 12	ガーディナー陶磁器美術館に寄贈される陶磁器の個人コレクション作品に、米国の美術館等が所蔵する陶磁器、絵画、版画、漆器、織物等を加えた、約100点からなる展覧会。各種教育プログラムも実施
16	日本からの大使たち：友好親善人形展1860~1927 ( <i>Ambassadors from Japan : Diplomats, Artists, and Friendship Dolls in San Francisco</i> )	米国	サンフランシスコ	Asian Art Museum	Asian Art Museum	2010. 04. 27 ~ 2010. 11. 21	咸臨丸来航160周年記念事業。日米交流史をテーマとした展示で、日本からの移民や人形の「大使(親善人形)」などの題材を扱う展示会を開催。米国内の美術館から借用した屏風絵の展示も同時開催。教育・アウトリーチプログラムも実施

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
17	奈良美智展 (Yoshitomo Nara : Nobody's Fool)	米国	ニューヨーク	Asia Society Museum	Asia Society Museum	2010.09.09 ~ 2011.02.01	奈良美智の米国初の大規模個展。ロックやパンク音楽とのつながりを中心に、初期の未公開作品から新作までをカバー。パブリック/アウトリーチ・プログラムやコンサートも実施。パーク・アヴェニュー・アーモリーでのレジデンス(オープン・スタジオ)が目玉の一つ
18	福本潮子：藍染の 繊細な世界 (Shioko Fukumoto : The Gossamer World of Indigo and Fiber)	米国	ポートランド	Pavilion at Portland Japanese Garden	オレゴン日本庭園 協会 (Japanese Garden Society of Oregon)	2010.10.30 ~ 2010.11.21	福本潮子の藍染展。オープニングには同氏を招へいし、講演を実施
19	夢と嗜好：サン ディエゴ美術館所 蔵250年の浮世絵展 (Dream and Diversion : 250 Years of Japanese Woodblock Prints from the San Diego Museum of Art)	米国	サンディエゴ	サンディエゴ美術 館 (San Diego Museum of Art)	サンディエゴ美術 館 (San Diego Museum of Art)	2010.11.07 ~ 2011.06.05	400余点の浮世絵の大規模展覧会。菱川師宣から1920~30年代の新版画までの250年間を俯瞰する。木版画制作のデモンストレーションやワークショップ等の関連企画も実施
20	郡裕美「空間の再 発見」展 (Learning Resource Program : Rediscovering Everyday Space)	米国	ピッツバーグ	マットレス・ファ クトリー (The Mattress Factory, Ltd.)	マットレス・ファ クトリー (The Mattress Factory, Ltd.)	2011.03.01 ~ 2011.04.15	郡裕美の作る装置を使って、周囲の空間を来場者に再考させる試み。縁側や軒下、障子や襖に囲まれた空間といった、日本建築内の空間にヒントを得て装置を制作
21	研ぎ澄まされたか たち：深見陶治の 歩み (Purity of Form : The Evolution of Fukami Sueharu's Ceramics)	米国	ハンフォード (カ リフォルニア州)	クラーク日本美 術・文化研究セン ター (The Clark Center for Japanese Art & Culture)	クラーク日本美 術・文化研究セン ター (The Clark Center of Japanese Art & Culture)	2011.03.26 ~ 2011.07.30	青白磁を用いた彫刻的作品で知られる陶芸家・深見陶治の個展。1962年から2005年までの40年以上にわたる創作活動を54点の作品(会期中盤で全作品展示代替)により紹介
22	石塚・進藤イン ディゴアート展	エルサルバドル	マルテ	エルサルバドル美 術館 (Art Museum of El Salvador)	エルサルバドル美 術館 (Art Museum of El Salvador)	2010.12.09 ~ 2011.03.11	インディゴ染色家による展覧会。その他ワークショップやレクチャーなど実施。エルサルバドルの伝統芸術インディゴアートを共通項にし、日本と同国の交流を促進
23	XVII Bienal De Arte Paiz	グアテマラ	グアテマラ・シ ティ	メトロポリタン文 化センター	Fundación Paiz	2010.04.17 ~ 2010.05.09	第17回Paiz Art Biennaleに、日本人として現代美術家・西野達(ドイツ在住)が初参加し、屋外の巨大なモニュメントを取り込む形でインスタレーション作品を設置

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
24	第11回メキシコポスター・ビエンナーレ	メキシコ	メキシコ・シティー	フランツ・マイヤー美術館	TRAMA VISUAL A. C. icograda member MEXICO	2010. 10. 29 ~ 2010. 11. 02	20年以上にわたるポスターに特化したビエンナーレ。本年は福田繁雄記念として同氏関連のイベントも多く実施するほか、原研哉(グラフィックデザイナー/日本デザインセンター代表取締役)を審査員として招へい
25	時の痕跡、言葉の痕跡：日本からのアーティスト展	アルゼンチン	ブエノス・アイレス	東洋美術館	アルゼンチン国立東洋美術館	2010. 11. 04 ~ 2010. 11. 28	2010年はアルゼンチン独立のきっかけとなった五月革命200周年。その記念行事のひとつとして中村冬日(なかむら・ふゆび)のキュレーションによる日本人アーティスト(書道・湯上久雄および木村翼沙と写真・港千尋)3名の作品を紹介
26	<i>The 3rd International Sculptors Encounter</i>	ボリビア	サンタ・クルス	マンサナ・ウノ・スクエア	Manzana 1 Espacio de Arte	2010. 10. 08 ~ 2010. 10. 19	熱帯雨林のサスティナブルな管理に関して一般市民の意識を喚起するために企画された木材による彫刻展。日本人彫刻家・池田雅彦が参加
27	野島康三展	イタリア	モデナ	ジュゼッペ・パニーニ写真美術館	モデナ写真収集体ジュゼッペ・パニーニ写真美術館	2010. 04. 10 ~ 2010. 05. 30	日本の近代写真の誕生と展開において最も重要な役割を果たした写真家のひとり、野島康三の写真113点を展示。京都国立近代美術館の共催によりイタリア初の野島康三の個展となった
28	ビデオズームジャパン	イタリア	ローマ	Gallery of the Associazione Culturale Sala 1	文化財団サラ・ウノ(Associazione Culturale Sala 1)	2010. 09. 23 ~ 2010. 10. 25	各国のビデオアートを紹介する展覧会シリーズの日本版。森美術館の近藤健一のキュレーションにより、平凡な日常をビデオで切り取ることで意味を与える作家たちの試みを展示。参加作家は小泉明郎、小金沢健人、奥村雄樹、サキサトム、さわひらき、田中功起
29	<i>Tabaimo</i>	英国	ロンドン	Parasol unit for contemporary art	Parasol unit for contemporary art	2010. 05. 26 ~ 2010. 08. 06	東芋のロンドンにおける初の個展。過去9年間に制作された代表作品4つのビデオ・インスタレーション作品を展示。日本人アーティストの作品も多く紹介してきたロンドンのギャラリー・パラソルユニットが会場
30	<i>Tatsumi Orimoto</i>	英国	リバプール	A Foundation Liverpool	A Foundation	2010. 06. 22 ~ 2010. 08. 22	折元立身(パフォーマンスアーティスト)の回顧展。1970年代から現在までの折元の活動を、1,000点に及ぶ過去の事業記録写真や動画、スケッチ、更に同氏のライブ・パフォーマンスによって幅広く紹介
31	<i>Unearthed: figure-making and figure-breaking in ancient japan and the Balkans</i>	英国	ノリッジ	Sainsbury Centre for Visual Arts	Sainsbury Centre for Visual Arts	2010. 06. 22 ~ 2010. 08. 31	新石器時代のバルカン地方の土偶と、縄文時代の日本の土偶150点とともに、現代の日本とバルカン諸国を象徴する作品やイメージと併せて展示。日本とバルカン諸国の作品を並置し、地理・時間軸の双方から、類似性と相違を比較検証

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
32	「光の肖像」展 in London ( <i>The Light - Portraits of the "Hibakusha"</i> )	英国	ロンドン	Brunei Gallery, School of Asian and African Studies (SOAS) University of London	Kingston University-London	2010.08.05 ~ 2010.10.08	大矢英雄(広島市立大学芸術学部教授)及び同大学大学院学生による65名の被爆者の肖像画をロンドン大学のギャラリーにて展示。肖像画のモデルの情報などもパネルの形で紹介
33	<i>New Work by Rinko Kawauchi for the Brighton Photo Biennial 2010, commissioned by Photoworks</i>	英国	ブライトン	Brighton Museum and Art Gallery	Photoworks	2010.10.02 ~ 2010.11.14	川内倫子(写真家)の新作を、写真専門のビエンナーレ、ブライトン・フォト・ビエンナーレ(BPB:2003年開始)で紹介。若い世代を中心に多くの支持を得る同氏が、BPB2010のテーマ <i>New Documentary</i> を受けて制作した新作の展示。BPBのキュレーターはマーティン・パー
34	日本の建築家 in ライディング	オーストリア	ライディング(Raiding)	ライディング・リスト・センター	Raiding Foundation	2010.09.05 ~ 2010.09.19	青木淳、妹島和世、西沢立衛、藤森照信、藤本壮介、隈研吾、原広司、山下保博、クライン・ダイサム・アーキテクトの展覧会。模型、スケッチ、写真、ビデオを使い日本のデザインがどのようにオーストリアの多機能小住宅に活かされているかを説明。「未来の建築」と題するシンポジウムも実施
35	スタンボット・メット・ローデコール オランダのアート・デザインアカデミー出身 日本人クリエイターたちによる作品展	オランダ	ライデン	シーボルト・ハウス	Siebold Huis	2010.05.20 ~ 2010.06.20	オランダでアートを学んだ若手アーティストのグループ展。2009年からオランダと日本で交互に行なわれたプロジェクトの第3弾。オランダで制作した作品と日本で作成したドキュメンタリーを展示し、異なる文化環境の体験から生み出された視点から「相互作用的コミュニケーション」の可能性を提示
36	<i>In the dark, in the distance, under the shade</i>	キプロス	ニコシア	ニコシア大学(The University of Nicosia)	ニコシア大学(The University of Nicosia)	2010.10.18 ~ 2010.10.27	キプロスに竹山聖(建築家)を招へいし、講演会、建築展及びワークショップを実施。展示の中心は茶室の模型
37	Contemporary Art from Japan: Gutai, Araki, Nagasawa	スイス	ルガノ	Museo d'Arte, Villa Ciani, Museo Cantonale	Dicastero Attivita Culturali- Museo d'Arte- Citta di Lugano	2010.11.24 ~ 2011.02.20	「具体」・荒木経惟・長澤英俊という3つの側面から日本のコンテンポラリーアートを提示。イタリア国境に近いルガノ市(スイス)で、3カ所同時に展覧会を開催。カタログも3種類制作
38	Young contemporary Japanese Photography	スウェーデン	ストックホルム	Foaje 3, Kulturhuset	Kulturhuset, Stockholm	2010.04.01 ~ 2011.01.16	やなぎみわ及び澤田知子それぞれの個展。スウェーデンでは初の展覧会となる。会場はストックホルムの中心に位置し、年間300万人以上が訪問する総合文化施設
39	黒澤明のスケッチ展:侍の眼差し	スペイン	ビルバオ	Alhondiga Bilbao	Alhondiga Bilbao	2010.11.20 ~ 2011.01.20	黒澤明生誕100周年にスペイン国内を巡回する展覧会。映画監督としての側面だけではなく、スケッチの展示を通して、彼の描写能力や衣装デザイナーとしての能力にも着目

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
40	東京+ベルリンコミュニケーション展	ドイツ	ベルリン	Freies Museum Berlin	Kunstfaktor e.V.	2010.07.30 ~ 2010.08.29	日本人14名、ドイツ人14名の現代美術作家による交流グループ展。2009年東京展、2010年ベルリン展を経て、日独修好150周年にあたる2011年には両国で開催
41	SANAA “Forward Movement”	ドイツ	ベルリン	Aedes Architekturforum	Aedes Pfefferberg, International Architecture Forum	2010.08.06 ~ 2010.09.23	妹島和世、西沢立衛による建築ユニットSANAAの代表作及び近作9点を紹介する展覧会。ベルリンの建築専門ギャラリーを会場とし、新しい技術と持続可能な建築の新たな可能性を追求
42	Seiko Mikami: Desire of Codes	ドイツ	ドルトムント	Dortmunder U, Center for Art and Creativity	Hartware Medien-KunstVerein: ISEA 2010 Ruhr	2010.07.31 ~ 2010.09.05	2010年欧州文化首都ルール地方で開催されたメディア・アーティストフェスティバルISEAで実施の展覧会Trustにおいて三上晴子のメディア・インスタレーションを展示
43	Proto Anime Cut - Spacws and Visions in Japanese Animation	ドイツ	ベルリン	Künstlerhaus Bethanien	Les Jardins des Pilotes e.V.	2011.01.21 ~ 2011.03.06	森本晃司、斉藤大他、日本人のアニメ作家をベルリンで紹介する展覧会。アニメにおけるオーディオビジュアル言語の変遷、制作やデジタルメディア影響下の消費に着目する他、教育関連プログラムを実施
44	Japanese Lacquer Chests in the State Coin Collection Munich	ドイツ	ミュンヘン	State Museum of Ethnology	ミュンヘン国立民族学博物館 (Staatliches Museum für Völkerkunde München)	2011.01.25 ~ 2011.06.16	ミュンヘン・コインコレクション所蔵の漆技法を使った箆笥などの家具30点を民族学博物館にて展示。作品を通し、装飾、図像、技法等における江戸時代前期の日欧間の交流と影響を示す
45	日本の金	フランス	ブルガンプレス	Musée de Brou	Ville de Bourg-en-Bresse (City of Bourg-en-Bresse)	2010.05.02 ~ 2010.07.25	フランス国内の公立美術館が所蔵する日本の漆工芸品コレクションを展示。これまで未公開だった南蛮美術から始まる日本の漆工芸品を年代順、テーマ別に判りやすく展示。技術面だけでなく、日本と西欧の交流の歴史なども説明
46	現代ファッションの変遷 第2部: 1990~2000	フランス	パリ	Les Arts Décoratifs	Les Arts Décoratifs	2010.11.25 ~ 2011.05.08	1990年代から2000年代までのモードの変遷を辿る大規模展覧会。Issey MiyakeやYoji Yamamotoなど日本人を含むファッションデザイナーの作品150点を年代順に展示
47	中世のアニメーション: 日本とフランスの国宝を読み解く	フランス	バイユー	Musée de la tapisserie de Bayeux	Musée de la Tapisserie de Bayeux	2010.11.27 ~ 2011.05.22	バイユー・タピスリー美術館の所蔵品である11世紀のタピスリーの複製と、12世紀の日本の絵巻物「伴大納言絵詞」の複製を展示し、絵巻物の世界を、映画・アニメーションの世界の観点から読み解く企画

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
48	<i>Printing: and then again</i>	ポルトガル	ポルト	University of Porto	University of Porto	2010. 11. 20 ~ 2011. 01. 20	伝統的な日本の版画技術を再読し、版画に見られる東洋と西洋の関係を考察。浮世絵から日本の現代作家による版画作品にいたるまで、幅広い作品を展示し、あわせて若手のポルトガル人作家の作品も展示。また展覧会の開催に合わせ、レクチャー、アーティスト・イン・レジデンス、ワークショップも実施
49	<i>REAL PRESENCE 10</i>	セルビア	ベオグラード	City Museum, Museum of History	nKA-Ica/ Belgrade Nezavisna kulturna asocijacija/ Independent Cultural Association	2010. 08. 25 ~ 2010. 09. 30	セルビアの民主化を機に2001年より始まった国際交流事業の10回目の記念事業。学生参加のワークショップから国際的に活躍している現代美術作家らの作品展示やレクチャー、シンポジウムを開催。日本からは石原玲子、大垣美穂子、久野ギルの3人の美術家が参加（全体で71名）
50	展覧会：芸者と侍	チェコ	プラハ	ナーブルステク国立アジア・アフリカ・アメリカ文化博物館 (National Museum, Náprstek Museum of Asian, African and American Culture)	ナーブルステク国立アジア・アフリカ・アメリカ文化博物館 (National Museum, Náprstek Museum of Asian, African and American Culture)	2010. 05. 05 ~ 2010. 10. 30	国立博物館が所蔵する日本の古美術コレクションの展覧会。博物館自らが近年修復を行った刀や衣装等数百点を展示
51	日本の蔵書票(エクスリブリス)チェコ・コレクション	チェコ	フラデツ・クラークロヴェー	Museum of East Bohemia in Hradec Králové	Museum of East Bohemia in Hradec Králové	2010. 09. 19 ~ 2010. 10. 31	チェコ国内にある日本の蔵書票コレクションの展覧会。20世紀以降、80名の日本のグラフィックデザイナーによってデザインされた400プリントを展示。本展のカタログにより日本の蔵書票が初めてチェコ国内に紹介されることとなった
52	第2回メディエーションズ・ビエンナーレ	ポーランド	ポズナニ	ZAMEK Culture Center	“Zamek” Culture Center, Mediations Biennale Office	2010. 09. 04 ~ 2010. 10. 31	2008年の第1回開催に続く2回目の開催。5名のキュレーター(うち1名は、水沢勉・横浜トリエンナーレ 2008 ディレクター)が選んだ120名を超す作家が参加。日本からは塩田千春、矢萩喜徳郎、小林正人、畠山直哉他7名の作家が参加
53	日本人形と静物：美術作品、文化における日本美術のインスピレーション	ポーランド	クラクフ	日本美術技術博物館manggha (Manggha Museum of Japanese Art and Technology)	日本美術技術博物館manggha (Manggha Museum of Japanese Art and Technology)	2010. 10. 15 ~ 2011. 01. 15	日本の美術がポーランドの近現代美術に与えた影響を、日本の浮世絵(葛飾北斎、歌川広重、喜多川歌麿)と、その影響を受けたと考えられるポーランド人作家による作品を通じて提示

## 造形美術事業費

	事業名	対象国	都市	会場	助成対象機関	期間	事業内容
54	Senseware	イスラエル	ホロン	ホロン・デザイン美術館 (Design Museum Holon)	ホロン・デザイン美術館 (Design Museum Holon)	2010.06.25 ~ 2010.08.31	日本の繊維産業の潜在力を世界にアピールするため、2007年にスタートした「TOKYO FIBER」という企画。原研哉が展覧会ディレクターを務め、高度に発展した人工繊維という素材を使って、デザイナーや建築家が企業と共同でさまざまなプロダクトを開発したものを作品として展示。過去にミラノトリエンナーレや21_21 DESIGN SIGHT、中国の国立美術館でも展示
55	50-Contemporary Japanese Prints	イスラエル	ハイファ	ハイファ博物館 ティコティン日本美術館 (Haifa Museums-The Tikotin Museum of Japanese Art)	ハイファ博物館 ティコティン日本美術館 (Haifa Museums-The Tikotin Museum of Japanese Art)	2010.11.20 ~ 2011.06.19	日本美術を専門に扱う美術館での創立50周年記念事業。養清堂画廊 (Yoseido gallery) の協力により50名の作家による日本の現代版画作品約100点を展示
56	カリグラフィーの精神と世界	トルコ	イスタンブール	Sakipu Sabanci Museum, Sabanci University	サバンジュ大学 (Sabanci University)	2010.04.14 ~ 2010.06.30	観峰文化センター (京都) が所蔵する日本や中国の書と、サバンジュ大学美術館が所蔵するオスマンカリグラフィーを一堂に集め、文化の違いから生まれる技法の違いや、互いに共通する要素を提示。会期にあわせてシンポジウムやワークショップも実施。「2010年トルコにおける日本年」関連事業
57	平山郁夫シルクロード日本画展 —文明の十字路を 行くトルコ—	トルコ	イスタンブール	ペラ美術館	ペラ美術館	2010.08.01 ~ 2010.09.19	シルクロードをテーマとした平山郁夫作品70点 (日本画・素描) を一挙に展示。平山郁夫の芸術の理解を通じて、日本とトルコ両国の相互理解を促進。「2010年トルコにおける日本年」関連事業
58	イスタンブールを愛した3人の日本人：山田寅次郎、伊東忠太、大谷光瑞	トルコ	イスタンブール	Suna & Inan Kirac Foundation Istanbul Research Institute	スナ&イナン・クラチ財団イスタンブール研究所 (Suna & Inan Kirac Foundation Istanbul Research Institute)	2010.10.14 ~ 2011.03.15	日本とトルコの友好に深く寄与した日本人、山田寅次郎 (実業家/茶人)、伊東忠太 (建築家)、大谷光瑞 (宗教家/探検家) の3名にスポットを当てた展覧会。彼らの遺品や作品、さらには関連する書物等を通じて、日本とトルコとの友好の歴史を提示。「2010年トルコにおける日本年」関連事業
59	ラビー 2010	カメルーン	ヤウンデ	ゲーテ・インスティテュート他	レ・パレット・デュ・カメル (Les Palettes du Kamer)	2010.04.19 ~ 2010.04.25	2008年から始まった現代美術の国際展。2回目の今回は、1週間の会期中、街頭での展示やパフォーマンス、ギャラリー・スペースでの展示を実施。未だ現代美術を紹介する機会の少ないアフリカにおいて世界中からさまざまな作品を紹介すると共に、カメルーン国内の作家にも作品発表の機会を提供するのが目的



造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (5) 造形美術情報交流(催し)

国内外の造形美術に係わる情報の発信、相互交流を促進する。

合計額 30,078,268 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	日中韓文化交流 フォーラム関連 事業	LEE, Sang Sub LEE, Yong Woo SHAO, Shan ZHANG, Qing	釜山ビエンナーレ事務局 事務局長 光州ビエンナーレ財団 CEO 広州トリエンナーレ事務局 事務局長 上海ビエンナーレ事務局 事務局長	韓国 韓国 中国 中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	「あいちトリエンナーレ2010」との共催で、日中韓3カ国の国際展主催者による国際シンポジウム「国際展のミッションー東アジアからの展望」を開催。東アジアにおける国際展活動の状況・成果についての報告、将来の課題についての意見交換を実施。また、日中韓のアーティストユニット「西京人」による作品『第2章ここは西京ー旅路は彼方の世界へ』を同トリエンナーレの開催に合わせて特別展示
2	アジア次世代キュレーター会議	池上 裕子	神戸大学 准教授	日本	2010.10.16 ~ 2010.10.22	アジアの次世代キュレーターのネットワーク構築のために毎年各国持ち回りで実施。第6回となる今回は、インドのIndia Foundation of the Artsと国際交流基金の共催でデリーとバンガロールで実施し。アジア各国のキュレーターとインドのキュレーターの交流を推進した。ゲスト講師として、池上裕子（神戸大学准教授）を現地に派遣

## 造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
3	日米学芸員交流	MARKS, Andreas	クラーク日本美術・文化研究センター Director and Chief Curator, The Clark Center for Japanese Art and Culture	米国	2011.03.07 ~ 2011.03.17	日本美術に関心のある比較的若手の米国の美術館学芸員11名を11日間日本に招へいし、日本の伝統・現代美術分野の美術館、ギャラリー、アトリエ等を見学し、日本の学芸員や関係者との意見交換を通じて日米間のネットワーク強化を図った
		ROCHE, Catherine	シアトル美術館 Interim Assistant Curator for Japanese and Korean Art, Seattle Museum of Art			
		KIM, Y. Christine	ロサンゼルス・カウンティ美術館 Associate Curator of Contemporary Art, Los Angeles County Museum of Art			
		STARKMAN, Christine	ヒューストン美術館 Curator, Asian Art, the Museum of Fine Arts, Houston			
		CHAN, Dany	サンフランシスコ・アジア美術館 Assistant Curator for Exhibition Projects, Asian Art Museum of San Francisco			
		RICHARD WAGNER JR., Douglas	デンバー美術館 Curatorial Assistant, Asian Art Department, Denver Art Museum			
		SUTCLIFFE, Lisa	サンフランシスコ近代美術館 Assistant Curator of Photography, San Francisco Museum of Modern Aer			
		ROTONDO-MCCORD, Lisa	ニューオーリンズ美術館 Assistant Director for Art, New Orleans Museum of Art			
		MORSIANI, Paola	クリーブランド美術館 Curator of Contemporary Art, the Cleveland Museum of Art			
		MINTZ, Robert	ウォルターズ美術館 Associate Curator of Asian Art, Walter Art Museum			
		DONNELL, Zoe	タコマ美術館 Curatorial Coordinator, Tacoma Art Museum			

## 造形美術事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
4	ニューヨーク近代美術館 (MoMA) との情報交流			米国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ニューヨーク近代美術館 (The Museum of Modern Art : MoMA) による戦後日本美術ソースブックの出版 (2012年刊行) に協力し、日米両国の美術専門家による戦後日本美術史に係わる共同研究・調査を支援
5	中東学芸員招へい	ELKADIRI, Abdul Razzak Nazem HOORANI, Khaled A. M. ABUHASHHASH, Mahmoud M. A. CHRISTIDI, Nadia	FAギャラリー キュレーター インターナショナル・アカデミー・オブ・アート アーティスティック・ディレクター AMカッタン財団芸術文化事業部 部長 インディペンデントキュレーター	クウェート パレスチナ パレスチナ レバノン	2011.02.07 ~ 2011.02.19	クウェート、パレスチナ、レバノンよりキュレーター4名を13日間招へいし、日本各地の美術館を視察。また中東美術事情報告会を実施

造形美術事業費

2. 催し等事業費 / (6) 市民青少年美術交流助成

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業（通常の助成事業）に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 4,950,649 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	第8回日中友好児童画展	中国	特定非営利活動法人社会教育団体ベルボ会	2010.04.01 ~ 2010.09.30	福岡県下及び中国（上海）において、幼稚園児・小学校児童の絵画作品をそれぞれ募集・選考。入選作品を、両国にて開催する展覧会で展示。開催期間中に入選児童代表を相互招へいして友好交流を行い、日本ではホームステイを実施
2	2010年上海万博公園彫刻プロジェクト関連一復旦大学交流プログラム	中国	2010年上海万博公園彫刻プロジェクト日本委員会	2010.05.01 ~ 2010.10.31	2010年上海国際博覧会公園中国館脇に設置される藤井浩一朗彫刻作品の序幕イベント、遠藤一郎による連絡バス「未来へ」号制作と、関連プログラムである連風合戦を、復旦大学の学生達と日本の若手アーティストたちが協働して開催
3	モンゴルTシャツアート展	モンゴル	特定非営利活動法人砂浜美術館	2010.04.01 ~ 2010.11.30	高知県で開催されてきたTシャツアート展をモンゴルの草原テレルジ草原美術館で実施
4	こどものための国際美術・演劇祭	イタリア	財団法人児童育成協会	2010.11.07 ~ 2010.11.14	マントヴァで毎秋開催されるこどものための芸術祭、セグニ・ダンファンチアに日本のこどもの城で実施されてきた造形プログラムを導入。日本のこども文化を紹介
5	アナドル大学漫画美術館日本漫画展	トルコ	世界漫画家連盟日本支部 (FECO JAPAN)	2010.04.07 ~ 2010.04.30	「2010年トルコにおける日本年」を記念して、国立アナドル大学漫画美術館（エスキシェヒール）で開催された日本の風刺マンガ展を通して、市民に日本の文化・社会の様相を紹介。日本の漫画家による交流会、講演も実施
6	「平和の祭典ムラミッド (MURAMID) 展」	エジプト	ジャパン・アートマイル実行委員会	2010.09.18 ~ 2010.09.26	世界20カ国からの参加者によって描かれた壁画（1.5m×3.6mの大型絵画）をエジプトに集め、アートマイルムラミッド展を開催。日本からは広島・長崎他のユース8名が参加。国際交流壁画共同制作を広めるためのカリキュラムモデルも制作
7	ナイロビ・レジデンス	ケニア	西尾工作所ナイロビ支部 (Nishio Workshop Nairobi)	2010.07.15 ~ 2010.09.30	公募で選出された日本人アーティスト2名（東明、松原慈）がナイロビで1カ月間にわたり、現地のスタッフやアーティスト、地域住民と協力して、日常の素材を使った作品の滞在制作と、その展示、シンポジウム、ワークショップなどを企画実施し、友好交流を深めた